

令和3年度 指定管理者施設管理評価シート		部課名	福祉部高齢福祉課	
施設名称	23 東京都台東区立みのわ高齢者在宅サービスセンター	指定管理者	社会福祉法人台東区社会福祉事業団	
選定方法	<input type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 継続特例 <input checked="" type="checkbox"/> 非公募	指定期間	R2.4.1	～ R7.3.31

1. 施設及び事業の概要	
(1) [設置目的]	要支援、要介護高齢者のデイサービスの場として、その心身の健康保持及び生活の安定のための各種の介護サービスを提供する。
(2) [所在地]	台東区三ノ輪1-27-11
[規模]	延べ床面積 9,617.23㎡のうち1,865.45㎡ 三ノ輪福祉センター内、鉄骨鉄筋コンクリート造地上9階地下2階のうち3・4階の一部、デイホーム、認知症デイホーム、機械浴室など
(3) [委託事業]	①通所介護・認知症対応型通所介護(送迎・入浴・食事・機能訓練・生活相談等) ②介護予防通所・介護予防認知症対応型通所介護(送迎・入浴・食事・生活相談等)(定員 一般型デイサービス：45名、認知症対応型デイサービス：12名)
[自主事業]	自主事業は行っていない
(4) [利用者]	要支援・要介護と認定された高齢者
[利用料金制]	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
(5) [開館日・時間]	月曜日から土曜日(年始1月1日～2日を除く) 8時30分～17時15分
(6) [人員体制]	19名 (内 訳) 相談員(常勤4)、看護師(常勤2)、ケアワーカー(常勤3、短時間労働者4.0、臨時職員6.4)、療法士(臨時職員0.1) (前年増減) 1名減(ケアワーカー(常勤+1、短時間労働者+1、臨時職員-0.9))

2. 予算決算		R元予算	R元決算	R2予算	R2決算
収入	委託料(指定管理料)	15,838,000	15,838,000	18,756,380	18,756,380
	利用料金収入	129,245,000	105,956,131	123,470,000	107,328,560
	その他収入(利用者等外給食費収入)	7,767,000	1,991,485	3,226,620	6,814,763
	計	152,850,000	123,785,616	145,453,000	132,899,703
支出	人件費	88,828,000	88,951,287	78,898,000	84,416,755
	光熱水費	10,423,000	10,198,284	10,678,000	9,753,644
	維持管理費(委託料・賃借料)	31,861,000	31,646,269	33,263,000	32,561,726
	修繕費	1,560,000	740,127	2,070,000	364,422
	事業費	0	0	0	0
	その他支出(利用者等外給食費支出)	20,178,000	16,143,041	20,544,000	20,443,690
	計	152,850,000	147,679,008	145,453,000	147,540,237
収支			-23,893,392		-14,640,534

3. 活動指標		単位	(目標値)R4年度	H30年度	R元年度	R2年度
定員(一般型デイサービス)		人	45	45	45	45
定員(認知症対応型デイサービス)		人	12	12	12	12

4. 成果指標		単位	(目標値)R4年度	H30年度	R元年度	R2年度
利用率(一般型デイサービス)		%	64	63.8	62.4	66.3
利用率(認知症対応型デイサービス)		%	60	61.4	58.2	59.2

5. 前回評価の結果に対する、現在までの取組み状況	
人件費等の減が達成され、また改修工事が始まるあさくさデイの利用者を段階的に受け入れたことから、利用料金収入、利用率共に増となった。	

6. 評価の観点	
(20点) 水準を全て満たしている(年間通じて問題がなかった) (19~14点) 水準の範囲内である(一部軽微な課題あり) (13~12点) 水準をやや下回った (11点以下) 水準を大きく下回った	
(1) 管理の適正性	法令等の遵守、事業計画書・報告書等の作成・提出、従業員の労働環境などの観点から、公の施設として、適正な管理体制及び運営が行われているかを評価する。
20 / 20 点	関係法令の遵守、報告書の提出、区との連絡調整等、適切に行われており、また新型コロナウイルスの感染防止対策も、検温、マスク着用、手指消毒の徹底等を継続しており、福祉施設の運営法人として適正に取り組んでいる。
(2) 事業の運営	職員配置、職員の対応、開館時間等の遵守などの観点から、施設の目的に合致した事業が展開できているかを評価する。
20 / 20 点	利用者やご家族とのコミュニケーションを円滑に行い、地域に根差した福祉施設として、概ね適切な運営がなされている。またコロナ禍で、地域の方との交流を図る行事は自粛せざるを得ないが、「いきいき通信」の発行等により情報発信に努めている。
(3) 施設の維持管理	建物保守、清掃・衛生管理、施設の修繕などの観点から、施設の維持管理が適切に行われているかを評価する。
20 / 20 点	施設が全体的に経年劣化しているため、修繕料等が継続して増加しているが、設備管理委託業者や職員による毎日の点検により、異常箇所を速やかに発見し、修理する等の取組を継続しており、維持管理は適切に行われている。
(4) サービス向上の取組み	利用者満足度調査、要望・意見等への対応、指定管理者の努力・意欲などの観点から、サービス向上に向けた取組みが積極的に行われているかを評価する。
20 / 20 点	利用者アンケートにおいて寄せられた記述式の要望・意見についても、令和3年度の事業計画の課題として検討するなどの取組を継続して行なっている。全体的に見て、サービス向上に向けての努力が継続的に行われている。
(5) 収入支出	予算執行、会計の管理などの観点から、収入支出が適正かつ効率的に行われているかを評価する。
18 / 20 点	利用料金収入や利用率が令和元年度に比べて増となったが、マイナス収支が解消されていない。収支を均衡させる取組も必要である。

(6) 優れた取組み ◀加点項目▶ ※点数上限：10点	指定管理者の自主的な取組みによる成果
— 点	

7. 総合評価	
極めて良好(110~101)・良好(100~91)・適正(90~70)・改善指示(69以下)	
良好 (98 / 110点)	<p>【所見】</p> <p>新型コロナウイルス感染防止対策を適切に行いつつ、敬老会や新年会等、コロナ禍においても利用者サービスの質を保つよう、運営を工夫しながら開催した。あさくさデイの利用者の受入れも段階的に行い、利用率の上昇につなげている。</p> <p>【各項目20点に届かなかった主な要因・課題】</p> <p>あさくさデイの大規模改修終了後も、現状の利用率を保つよう、より魅力あるプログラムを模索し、またより一層の効率的な運営を図り、収支の改善に取り組む必要がある。</p>